

小学校 実践例 主題名「大切な友達だから」
教材名「くも合戦」(友情、信頼)

道徳的価値について

- 人間は、常に人との関わりの中で生活している。いつでもお互いに深く理解し、信頼し合える友をもつことは何事にも代えがたいものである。よりよい人間関係を築くには、互いを認め合ったり、助け合ったりしながら、信頼や友情を育てていくことが大切である。

児童について

- 活動範囲が広がることで、集団との関わりが増え、友達関係も広がってくる。
- 気の合う友達同士で仲間をつくって楽しもうとする傾向が強くなり、集団での活動が盛んになる。
- 自分の利害にこだわることで、友達とトラブルを引き起こすこともある。

教材について

くもを逃がしたと思ひ込み、友達を責める主人公の気持ちと責められても応援を続ける友達の姿から、本当の友情について深く考えることができる。

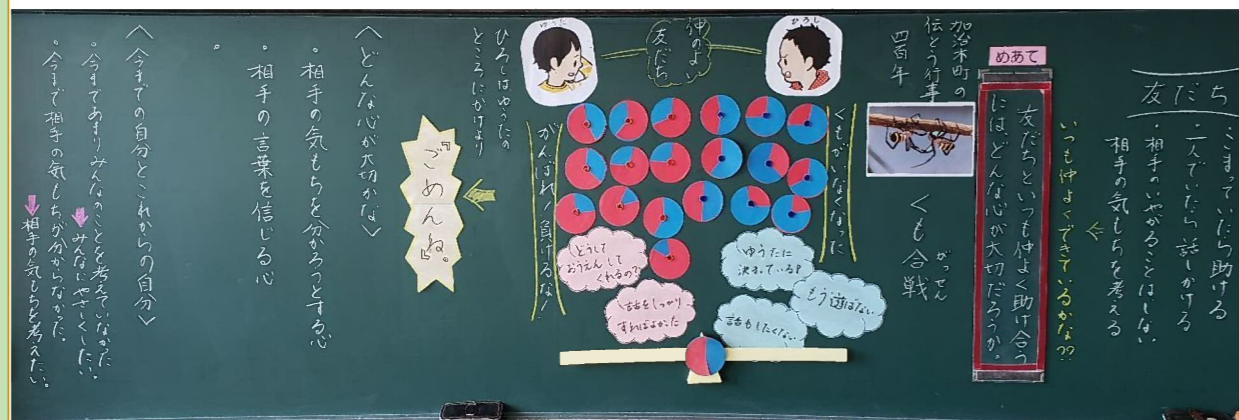
ねらい

仲のよい友達とのいさかいや友達を自然に応援している話を通して、お互いに認め合い、励まし合って友情を深めていこうとする心情を育てる。

指導にあたって

- 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めるために、自分の利害から友達を責める主人公の気持ちに共感させた後、お互いの考えや思いを理解し合うことが友達との関係を深めることに気付かせていく。
- 責められても応援をする友達の姿から、主人公の気持ちについて多面的・多角的に話し合うことで、ここでの道徳的価値についての理解を深めていけるようにする。

板書



実践記録

	主な学習活動と児童の反応	指導上の留意点
導入	1 アンケートをもとに、友達と仲よくすることについて考える。 ・困っているとき助けてあげる。 ・一人でいるときに話しかけてあげる。 ・嫌がることをしない。	○ 事前のアンケートの結果を示し、友達と仲よくしていくための心情を想起させる。 ○ 友達と仲よくしたいと思っているが、実際の生活の中ではけんかをしてしまうこともあることを押さえて、問題意識を高めさせる。
展開	2 本時の学習のめあてをつかむ。 友達と仲よく助け合うにはどんな心が大切だろう。 3 教材「くも合戦」を読んで、主人公の心情について話し合う。 (1) 主人公の心情やその変化について話し合う。 ア 仲間はずしをしたとき ・ゆうたが逃がしたに決まっている。 ・もう遊ばない。話もしない。 イ 応援を聞いてはっとしたとき ・どうして応援してくれるのかな。 ・話をしっかりすればよかった。 (2) めあてについてどんな心が大切かを考える。 ・相手の気持ちを理解する心 ・相手の言葉を信じる心 ・相手の気持ちを認めてあげる心	○ 児童の意識を資料の内容により共感させるために、教師が範読を行う。 ○ ゆうたにくもを逃がされたと思っているひろしの気持ちを考えさせる。 ○ ゆうたがひろしを応援している様子を役割演技を行い、教師がインタビューしながら、主人公の気持ちに共感させる。 ○ 友達と仲よく助け合うための心情を多面的・多角的に考えさせるために、応援されたときの主人公の気持ちをワークシートに書き、お互いの意見を交流させる。 ○ 応援することでお互いの気持ちを理解することができたことに気付かせる。 ○ 自分自身と違う立場や感じ方、考え方に触れながら、友達と仲よく助け合うための心について自分の考えをまとめる。
終末	4 学習したことを振り返り、自分の今までの生活とこれからの自分の生活について考える。 5 教師の説話を聞く。	○ これまでの学習を振り返りながら、自分のいままでの友達の間を見直し、これからの生活に生かしていこうとする意欲をもたせる。 ○ 友達と互いに認め合い、励まし合っていこうとする心情を高めさせる。

実践を振り返って

- 【成果】**
- 児童一人一人が、自分のこととして、友だちのことを考えることができていた。
 - 主人公の行動を役割演技させ、教師がインタビューすることで自分との関わりの中で道徳的価値を理解でき、多面的・多角的に考えることができた。
 - 導入でくも合戦の動画を見せることで、初めて見た児童へくも合戦を理解させることができ、教材の主人公の行動について考えやすくなった。
- 【課題】**
- 参加したり見たことがなかったりする児童が多いので、最初に動画や「わたしたちの始良市」などで確かめてから取り組むとより深められると感じた。
 - 相手を思いやる気持ちに偏りやすいので、主題に迫らせるような切り返し等を行うとよい。